

令和8年度  
施政方針

松 島 町

# 目 次

1	総論	.....	1
2	松島の基盤をつくる	.....	3
	居住環境／公共交通／道路環境／公園・緑地／上水道・下水道		
3	松島の人と自然を守る	.....	5
	自然環境保全／交通安全・防犯／消防・防災		
4	松島の人々を支える	.....	6
	地域福祉・社会保障／保健・医療／子ども・子育て支援		
	高齢者福祉・介護予防／障がい者(児)福祉		
5	松島人を育む	.....	8
	学校教育／生涯学習・生涯スポーツ／文化財保護・文化遺産		
6	松島の活力を生み出す	.....	10
	農林水産業／商工業／観光業／企業誘致		
7	松島のまちづくりの仕組みをつくる	.....	12
	定住促進／住民参加・地域コミュニティ／行財政		
8	令和8年度当初予算内訳	.....	14

# 施政方針

令和8年第1回松島町議会定例会において、令和8年度予算案及び諸議案を御提案申し上げ、御審議をいただくに当たり、町政運営に臨む所信の一端と基本的な考え方を御説明申し上げ、議員及び町民の皆様への御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まずはじめに、令和7年を振り返りますと、様々な災害が多かった年であったと感じております。2月に発生した大船渡市林野火災をはじめ、12月には青森県東方沖地震、更には獣害もあり、昨年末の「今年の漢字」が「熊」になるなど、例年になくクマによる人身被害が東北地方で数多く発生しました。

クマによる人身被害につきましては、本町は幸いにもありませんでしたが、目撃情報等は多数寄せられており、今後もクマ対策を継続していく必要があると考えております。

さて、国政に目を向けてみますと、昨年10月に高市氏が第104代内閣総理大臣に就任し、1885年の制度創設以来、日本で初めての女性首相が誕生いたしました。先月実施されました衆議院議員総選挙においても、高市内閣が掲げる「日本列島を、強く豊かに。」が支持された形となっております。

本町におきましても、高市内閣が「足元の物価高への対応」として昨年末に実施しました重点支援地方交付金を活用し、様々な支援を町民の皆様へいち早く届けるべく、引き続き、各事業に取り組んでまいります。

また、昨年7月には初原地区において「松島イノベーションヒルズ」の起工式が執り行われ、工業団地の整備が大きく進展いたしました。引き続き、松島町初原土地地区画整理組合と連携しながら、企業誘致を着実に進め、雇用創出と移住定住の促進を図ってまいりますとともに、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

観光面においては、松島町の観光客数が震災前の水準に戻りつつある中で、本年1月13日より宿泊税が導入され、東北地方を牽引する国際観光都市松島として、今後の観光振興に寄与されるものと期待しているところであります。令和8年度は宮城県や地元企業と連携しながら、滞在型観光を目指し、様々な課題に取り組んでまいり所存であります。

令和8年度は、本議会に議案とさせていただいております、今後10年間の町の将来像やまちづくりの方向性を示した新たな長期総合計画がスタートする年であります。

当計画では「誰にでもやさしく、活力あふれる“ほっと”松島」を将来像として掲げ、「松島の基盤をつくる」、「松島の人と自然を守る」、「松島の人々を支える」、「松島人（まつしまじん）を育む」、「松島の活力を生み出す」、「松島のまちづくりの仕組みをつくる」の6つの基本目標を相互に連携させ、各分野における課題の解決を図り、目標とする将来像の実現を目指してまいります。

また、令和8年度は、町制施行100年に向けた大切な一步を踏み出す年でもあります。最初の一步として、町制施行100周年のロゴマークを決定し、それを活用しながら、様々な周知事業に取り組み、令和10年1月1日の町制施行100年に向けて、町内外に広くPRしてまいります。

一方で、令和8年度の本町の財政見通しは、所得税の基礎控除の見直しや設備投資の縮小による地方税の減収が影響し、主要一般財源はわずかに下降する見通しであり、長期化する物価高の対応等で、歳出増の伸びが歳入見込みを上回る状況が継続することも懸念されております。

加えて、人口動態に伴う地域運営の持続性や激甚化・頻発化する自然災害への対応も想定されるため、財政基盤の持続性と安定性の確保に向けた収支改善に取り組み、財源不足の縮減を図ることが不可欠であります。

このような状況の下、令和8年度予算案における一般会計の予算規模は、前年度と比較して、0.1%の増で編成しております。

なお、特別会計予算につきましては1.4%の増となり、公営企業会計予算につきましては、水道事業会計では5.8%の増、下水道事業会計では4.3%の減で編成しております。

令和8年度予算案は、新たな長期総合計画の初年度として、重点施策への集中的な投資と持続可能な財政運営のバランスを図りながら編成しております。

今後も地方自治体は厳しい財政状況の中で行政運営を行うこととなりますが、行政だけでは成し遂げることができない、多くの課題があります。

これらを解決するためには、議会等の御協力が不可欠であり、また、同じ松島に生きるものとして共に目指すべき未来の松島に向かって進むことが重要であります。

引き続き、松島をより良い方向へ動かすため各施策に取り組んでまいりますので、議員及び町民の皆様のご理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

次に、令和8年度の主要施策につきまして、新たな長期総合計画の施策体系に沿ってご説明申し上げます。

### 松島の基盤をつくる

居住環境につきましては、今後の都市計画に基づく事業の方針となる都市計画マスタープランと都市機能の誘導により持続可能な都市構造を目指す立地適正化計画の策定に取り組み、計画的な土地利用を促進してまいります。

空き家の利活用につきましては、民間事業者が持つ市場分析・企画力・運営ノウハウを最大限に活かしながら、官民が役割分担して空き家解消に向けて働きかけてまいります。

公共交通につきましては、令和7年12月に改正した町民バスの運行ダイヤの検証や利用者ニーズの把握に努め、更なる利便性の向上を図るとともに、町民バス運行事業者と連携し、安定した運行による鉄道駅との円滑な乗り継ぎなど、快適で安全な運行に努めてまいります。

道路環境につきましては、都市計画道路根廻・初原線の松島イノベーションヒルズから初原側の道路計画について検討してまいります。

品井沼地区道路整備につきましては、東北本線用地側の道路拡幅工事を進めてまいります。

また、県道の整備促進につきましては、仙台松島線等の機能強化に向け、宮城県と連携を図ってまいりますとともに、国道45号の歩道拡幅につきましても、松島第一小学校から松島駅前までの整備を含め、国土交通省と連携を図ってまいります。

上水道事業につきましては、本年度から新料金を適用し、財政の安定化を図るとともに、水道水の水質検査や放射性物質検査を徹底し、水質基準を維持しながら、老朽化した配水管の布設替工事等につきましても引き続き進めてまいります。

下水道事業につきましては、施設の持続的な機能保全を図るためのストックマネジメント計画に基づき、下水道幹線管渠更生工事やマンホール蓋取替工事に取り組むとともに、下水道未普及地区の解消に向けて、初原地区の污水管渠築造工事を引き続き進めてまいります。

また、社会情勢等による物価高騰の影響及び老朽化した施設の更新や維持管理費に要する費用が増加していることから、下水道事業会計の財政安定化を図るため、下水道使用料のあり方について検討を進めてまいります。

## 松島の人と自然を守る

自然環境保全につきましては、ゼロカーボンシティの実現に向け、1月に策定した「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、地球温暖化防止に向けた意識の啓発を図るなど、二酸化炭素排出量削減に資する取組を実施してまいります。

また、ごみの減量化や分別に関する周知啓発活動、各種団体と連携した不法投棄防止対策等を引き続き行うほか、雑草の繁茂等による環境悪化を防止するため、土地の適正管理を働きかけるなど、自然と共生した美しい松島を次世代に引き継げるよう、各種取組を推進してまいります。

加えて、松島の自然景観を保護するため、松くい虫防除事業として薬剤散布及び樹幹注入による病害虫のまん延防止を図りながら、被害木に対する早期伐倒駆除を実施することにより引き続き景観保持に努めてまいります。

また、森林環境譲与税を活用した「森林機能回復事業」において、これまで抵抗性松を植樹した箇所に対して保育間伐事業を継続し、森林機能の回復に努めてまいります。

交通安全・防犯につきましては、令和7年9月18日に達成した「交通死亡事故ゼロ1000日」の記録の継続と交通事故の防止に向け、関係団体と連携した交通安全思想の普及活動や交通安全施設の整備などを実施するとともに、特殊詐欺等の犯罪被害を防ぐため、各種SNS等による迅速な情報発信や、防犯指導隊と協力した地域防犯活動などにより、安全に、安心して生活できる環境を構築してまいります。

消防・防災につきましては、内閣府との共催で実施した総合防災訓練の検証結果や災害対策基本法の改正等を踏まえ、町の災害対策の指針であります地域防災計画の改定を進めるとともに、緊急地震速報や気象に関する警報など、対処に時間的余裕がない事態に関する情報を受信する「全国瞬時警報システム（Jアラート）受信機」

を更新し、町民に対して迅速かつ的確に情報を伝達する体制を構築してまいります。

さらに、地震災害による家屋やブロック塀の倒壊被害を防止するため、家屋の耐震診断及び耐震改修工事並びに道路沿いの危険ブロック塀除却に対する助成を継続し、耐震化事業を推進することで、ハード対策とソフト対策を充実させてまいります。

また、町民の自主的な防災意識の向上を図るため、自主防災組織の活動を支援するとともに、防災指導員の育成や備蓄品の適切な維持管理などにより、地域防災力の向上を図ってまいります。

消防団につきましては、視界不良時においても安全に活動ができるよう、消防団員服装基準に準じた、視認性が高い新基準活動服を配備して消防団員の安全を確保するとともに、夜間における電源確保や資機材等を搬送する消防車両の更新、さらには、夏季訓練、各種研修等を通じて災害対応能力の向上を図り、地域における消防力を強化してまいります。

## 松島の人々を支える

社会保障につきましては、国民健康保険及び後期高齢者医療保険とともにマイナ保険証の普及促進に努めることで、被保険者の利便性の確保を図り、保障制度の適切な運用を行ってまいります。

また、令和8年度から国民健康保険税、後期高齢者医療保険保険料とともに税率、料率改正により被保険者の負担増となりますが、所得状況に応じた軽減を図ってまいります。

保健・医療につきましては、健康づくり推進の取組として、定期接種化されるRSウイルス母子免疫ワクチンを開始します。併せて、小児おたふくかぜワクチン任意接種に対する町独自の費用助成を開始し、感染症のり患・まん延予防に努めてまいります。

また、母子健康手帳アプリの導入により、保護者の利便性の向上を図ってまいります。

生活習慣病の発症・重症化予防の取組として、胃がん検診において内視鏡検査を導入し、がんの早期発見を進めてまいります。

医療体制充実の取組として、塩釜地区二市三町で休日急患診療センターを運営する他、医科・歯科の救急医療体制を維持するよう地域医師会や医療機関と連携を図り、町民の安心な暮らしを支えてまいります。

子ども・子育て支援につきましては、「松島町子ども・子育て支援事業計画（第三期）」に基づき、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指し、こども家庭センターを中心に妊娠・出産・子育ての切れ目ない子育て支援の実践に取り組んでまいります。

また、児童福祉法及び子ども・子育て支援法により全自治体で行われる、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施し、未就園期の子どもの社会経験の機会確保や保護者の育児不安の軽減に努めます。さらに、留守家庭児童学級においては、サテライト室を設置し、児童受入拡大を図ることで共働き世帯への支援拡充を行ってまいります。

幼児教育・保育環境の整備及び待機児童解消のため、各幼稚園と高城保育所の再編の早期実現に向けて適地選定等の検討に取り組んでまいります。

また、各幼稚園及び保育所等との交流や合同職員研修を引き続き実施するとともに、新1年生がスムーズに入学できるよう、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校間での情報共有や連絡調整を図ることを目的とした連絡協議会につきましても引き続き開催してまいります。

高齢者福祉につきましては、ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業及び高齢者福祉助成事業等を引き続き実施し、関係機関と連携しながら高齢者の在宅生活の支援及び見守りを実施してまいります。

保健福祉センター管理につきましては、長期的に安心して利用していただくため、適切な保全管理に努めてまいります。

介護保険の運営につきましては、中長期的な介護保険サービス給付費等を適正に見込み、令和9年度からの3年間を計画期間とする「松島町高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」を策定してまいります。

また、地域の実情に応じた介護予防教室の開催に努めてまいります。

介護サービス事業につきましては、高齢者が住み慣れた地域でできるだけ自立した生活を送ることができるよう、介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者及び要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメント及び介護予防サービス計画を作成し、在宅生活を支援してまいります。

障がい者福祉につきましては、令和9年度からの3年間を計画期間とする「第8期障がい福祉計画、第4期障がい児福祉計画」の策定にむけて、町内の障がい者を取り巻く現状の把握に取り組み、障がいのある方が住み慣れた松島町の地域の中で暮らしていくことが出来るよう、きめ細かな相談体制と支援を引き続き行ってまいります。

## 松島人を育む

教育環境の整備につきましては、児童生徒が快適な環境で学習等ができるよう、設備や施設の適切な維持管理を継続してまいります。

また、新たなタブレット端末を貸与の上、ICT支援員を引き続き配置し、ICT教育の充実を推進してまいります。

教育内容の充実につきましては、外国語指導助手2名の雇用体制を継続するとともに、英語に親しむ活動を保育所及び幼稚園の幼児を対象に引き続き実施してまいります。

また、「子ども国際観光科」におきまして、児童が日頃学んだ英語コミュニケーション能力を最大限に発揮しながら松島の魅力を伝

えることができるよう、児童の育成を継続してまいります。

さらに、中学生を対象とした実用英語技能検定の受験料補助を新たに実施し、生徒一人一人の学習意欲を高め、目標を持って主体的に学ぶ姿勢を育成するとともに、英語力の確実な定着を後押しします。

心のケア・不登校対策につきましては、スクールソーシャルワーカーを引き続き配置し、学校、家庭及び心のケアハウスが連携を図り、多様化・複雑化している子どもが抱える悩みや問題に対し、個々に応じた支援や必要な働きかけを行ってまいります。

学校給食につきましては、成長期にある園児や児童・生徒の心身の健全な発達に資するため、栄養バランスのとれた質の高い献立づくりを行いながら、安全で安心な給食の提供に努めてまいります。

また、町内産をはじめとする地域食材を積極的に活用するとともに、郷土料理をはじめ世界各国の様々なメニューを取り入れながら、食育指導を推進してまいります。

さらに、小学校給食の無償化を行い、子育て世帯の経済的負担軽減を図ってまいります。

生涯学習及び生涯スポーツにつきましては、子どもから高齢者まで、町民一人一人が自発的に学び、主体的に活動できる環境づくりに努めてまいります。

また、社会教育につきましては、地域学校協働活動を一層推進し、地域に根ざした教育資源や人的資源を有効に活用することで、郷土教育の充実を図ってまいります。

公民館事業等の充実につきましては、公民館施設等を活用した多様な講座を開催し、地域の実情に応じた特色ある事業に取り組むとともに、関係団体と連携しながら、町民主体の芸術・文化活動への支援に努めてまいります。

また、町民ふれあいスポーツ大会を通じた世代間交流の促進に加え、分館を基盤とした地域間交流を一層進めることで、人と人との

つながりを大切にした魅力ある地域づくりに取り組んでまいります。

スポーツ振興につきましては、町民の健康増進及び地域・世代間交流の推進を図るとともに、各社会体育施設において、誰もが気軽に利用できる環境づくりに、指定管理者等と連携しながら取り組んでまいります。

また、利用者から要望が多かった松島運動公園内トイレの洋式化工事を実施し、誰もが快適に利用できるよう、施設環境の改善を進めてまいります。

文化財保護・文化遺産につきましては、本町が誇る貴重な文化財を次世代に継承するため、特別名勝松島保存活用計画に基づいた文化財保護に努めてまいります。

また、公開講座の開催、観瀾亭松島博物館や松島湾三町文化財展での企画展示を通じて、広く文化財の魅力を発信し、文化財をより一層活用してまいります。

町史編さんにつきましては、「通史編」の校正・印刷製本を行うとともに、「資料編」の執筆を行い、令和9年度の刊行を目指して事業を着実に進めてまいります。

## 松島の活力を生み出す

農林業につきましては、国や宮城県が示す生産の目安に基づく米の生産が円滑に実施されるよう、地域農業推進協議会やJA仙台等の関係機関と連携しながら、高収益作物等への転換を促進し、環境に配慮した環境保全米の生産に取り組む農家を支援してまいります。

また、イチゴの生産に対する支援を行い、日本三景松島の新たな特産品となるよう努めてまいります。

併せて、全国的に目撃件数や被害が急増している有害鳥獣に係る農作物被害防止対策のため、引き続き補助事業を実施するとともに、令和7年9月より施行されたクマの緊急銃猟に関しても、関係機関と緊密

に連携し、出没状況の把握や捕獲体制の確保など、農作物被害の抑制と地域の安全確保に向けた対策の推進を図ってまいります。

さらに、町内小学生を対象とした自然観察体験等を実施し、森林機能の役割等を学ぶ森林教育を引き続き行ってまいります。

土地改良施設の整備につきましては、県営農村防災施設整備事業による志田谷地排水機場の機器更新および県営水利施設整備事業による鳴瀬川下流頭首工の整備補修を推進してまいります。

地産地消の推進につきましては、松島町地産地消実行委員会が実施する事業等への支援を行い、「まつしま産業まつり」や「まつの市」などの地産地消イベントを開催することで、生産者と消費者が交流できる場が提供され、地場製品の地元消費に繋がるよう取り組んでまいります。

また、これまで本町と関わりのある自治体との連携を図りながら、県内外で開催される物産イベントに出店し、地場製品のPRをしてまいります。

水産業につきましては、安全・安心な松島産カキが生産できるよう宮城県漁業協同組合松島支所に対して、海域の調査や滅菌装置を含めた施設の維持に係る衛生対策や、イベントでの無料試食による松島産カキPR事業等に対する支援を行い、漁業者の経営安定に努めてまいります。

また、宮城県が進める磯崎漁港機能保全事業による施設の長寿命化に向け、宮城県と調整を図ってまいります。

商工業につきましては、事業者の経営安定を目指し、利府松島商工会と連携を図りながら、商工会運営費補助金等の支援を継続してまいります。

また、新たな起業・創業支援のため、連携を図りながら、町の補助金交付事業を実施し、創業を目指す方への支援を引き続き行い、地域経済の活性化に努めてまいります。

観光コンテンツの充実につきましては、宮城県や近隣自治体との連携を継続して、既存の観光資源を活かした観光誘客に取り組んでまいります。

宿泊型観光コンテンツの充実につきましては、今年1月13日から開始した宿泊税の用途を、関係事業者と意見交換や情報共有を行い、活用施策を検討してまいります。

また、近隣自治体と連携を図り、来訪者の滞在時間を延ばす誘客事業に取り組んでまいります。

インバウンドの推進につきましては、宮城県と連携して松島の魅力を国外へ情報発信するとともに、国や宮城県の動向を注視しつつ、関係団体と相互に連携を図りながら効果的な誘客に努めてまいります。

企業誘致につきましては、現在整備中の松島イノベーションヒルズへの誘致活動を推進し、新たな産業拠点での地域経済の活性化を図るとともに、事業用地・空き工場等の利用促進につきましても、地域経済の活性化の一助となるよう新たな商業施設や企業等の立地に向けて取り組んでまいります。

## 松島のまちづくりの仕組みをつくる

定住促進につきましては、住まいに関する支援として、若年層から選ばれる町となるよう、新婚世帯応援事業支援金や住宅取得を応援する定住促進事業補助金を継続して交付し、着実な定住人口の増加に向けて取り組んでまいります。

また、移住・定住促進ガイドブックを刷新し、暮らしの魅力や子育てガイド、ふるさと納税等、町のPRに繋がる情報を広く掲載し、首都圏で開催される移住関連イベントをはじめ、各種イベントにて「住むまち」としての魅力を発信してまいります。

住民参加・地域コミュニティにつきましては、町民協働・官民連携による魅力あるまちづくりの推進に向け、町民、町内で活動して

いる団体、民間等と「タウンミーティング」を継続してまいります。

また、町の将来を担う子どもたちとまちづくりを考える貴重な場である「こども未来アカデミー」についても、引き続き開催し、幅広い年代の意見を今後の施策に反映してまいります。

行政サービスの充実につきましては、各種サービスのデジタル対応に係る取組を継続しながら、生成AIなどの新技術の活用、データ連携の構築、地域におけるDX推進の検討など、次のステージに向けた取組を進めることで、町民の利便性の向上や負担の緩和を図るとともに、効率的な行政運営を推進してまいります。

情報・通信につきましては、災害情報の速やかな発信に加え、各種SNSやテレビ回覧板を活用して、町政情報や観光情報の効果的な発信に努めてまいります。

また、地上デジタル放送の難視聴区域に安定した電波受信を維持するため、経年劣化した地上デジタル放送無線共聴施設を更新してまいります。

本町の財政につきましては、社会保障関係費や人件費の増加、物価の上昇など歳出の増加圧力が高まっていることから、持続可能な財政運営のため公共施設等総合管理計画に基づく財産の有効活用やふるさと寄附金の促進など自主財源確保に努め、財政健全化に取り組んでまいります。

また、法人を対象とする企業版ふるさと納税につきましても、企業がまちづくりに参画しているという機運を高める魅力的なプロジェクトを提案し、引き続き企業からの寄附による財源確保に努めてまいります。

広域連携の推進につきましては、宮城県町村会をはじめ、仙台都市圏で構成する協議会、近隣自治体との協議会等を通じて、重点課題の解決に向けて国や宮城県に対して要望活動を行ってまいります。

また、塩釜地区広域行政連絡協議会で実施しております交流・研修事業を通じて、人材育成に取り組み、職員間の交流を深めることで地域間の連携強化に努めてまいります。

### 令和8年度当初予算内訳

■ 一般会計	6,796,000千円
■ 国民健康保険特別会計	1,659,078千円
■ 後期高齢者医療特別会計	297,405千円
■ 介護保険特別会計	2,123,832千円
■ 介護サービス事業特別会計	11,314千円
■ 観瀾亭等特別会計	180,822千円
■ 水道事業会計	755,771千円
■ 下水道事業会計	1,286,221千円
<hr/>	
■ 合計	13,110,443千円